

除草のお役立ち情報誌

ザクサクラボ

夏が来れば
思い出す
はるかに伸びた
雑草たち。

非選択性茎葉処理除草剤

ザクサ
ラボ
液剤

マルバルコウ
に!!

vol.17

つるを伸ばして大豆に絡みつく 厄介なアサガオ類(アメリカアサガオ、 マルバルコウなど)を徹底防除!!

古くから日本の食卓を支えてきた大豆。栄養価が高く、夏バテや熱中症予防にもうってつけの伝統食材です。猛暑の夏、そんな大豆に負けない勢いでぐんぐん伸びてくるのが、雑草です。悩ましい季節を乗り切るには、早めの雑草対策がカギを握ります。

夏の風物詩として、色鮮やかに咲き誇るアサガオ。小さな赤い花をつけるマルバルコウ。どちらもかわいらしい見た目に気を取られてはいけません。アサガオ類は、実は大豆の大敵。放っておくとつるを伸ばし、あっという間に絡みつく厄介な存在です。

防除の ポイント

- ザクサ液剤200倍液をアサガオ類全体に散布しましょう。
- ザクサ液剤を株元まで散布することで、先端までしっかりと枯らします。
- 大豆に絡みつく前の早い時期の散布がより効果的です。

■ マルバアサガオ(ザクサ200倍での除草効果)

(北興化学工業(株) 社内試験)



散布前

散布3日後

散布7日後

散布14日後

● アサガオ類(マルバルコウ)

マルバルコウは北アメリカを原産地とし、日本には江戸時代に鑑賞目的で入ってきたとされています。ただ、今では畑や荒地にはびこる雑草と化し、特に大豆畑を荒らす害草として知られるように。繁殖力が高く、生育旺盛。近くの物体に遠慮なく絡みつき、長さは約3mにまで伸びることもあるようです。葉は先の尖った卵形、花は赤色。近い仲間のつる植物「ルコウソウ」と比べて葉が丸っこいことから、「マルバルコウ」と名付けられたそうです。



炎天下での 雑草管理をもっとラクに!

連日の猛暑に見舞われ、各地で最高気温を記録している日本列島。炎天下の除草作業には、熱中症のリスクも伴います。もっと短時間で、ラクに終わらせられる方法はないだろうか…。

そんな悩みを解決できるのは、ザクサ液剤!!

ザクサ液剤を大豆畑の雑草にさっと散布すれば、わずか1~3日で効果が出始め、7~14日後には雑草をしっかりと枯らします。さらに、その除草効果は40~50日ほど長続き。手刈りの重労働からも解放され、作業の省力化、時間の短縮はもちろん、人件費の削減や収量アップも期待できます。

広い大豆畑には!!

ザクサ液剤専用の機械を使うのがオススメ。畦間や株間に生える雑草まで、短時間できれいに除草できます。(※機械の詳細は次のページをチェックしてみてください)

■ ザクサ液剤の大豆の畦間除草効果(200倍 100ℓ/10a)



散布当日



散布20日後

マルバルコウに
覆われた畝間も
この通りきれいに!

■ 散布適期と上手な使い方



- 雑草の背丈が大豆の背丈より高くなってからの散布は、薬剤の付着が難しいため避けてください。
- 乗用管理機による散布適期は3葉期頃～開花終期までです。
- 乗用管理機に吊り下げノズルや万能散布バーを付け、ノズル位置の調節を行い、散布幅を工夫して豆類へ飛散しないよう散布してください。

■ 飛散した場合



付着部位には薬害を生じますが
株全体に及ぶことはありません。

大豆の畝間に生える 雑草の防除に便利な機械があります！

- そり式の散布バーが地面に接してノズルが上下左右にぶれないので、畝間だけをピンポイントで散布できる！
- 各社ほとんどの乗用管理機に取り付け可能！
- 除草作業の省力化とスピードアップが可能！

根際散布機 東洋農機(株) 製造



大豆Zバーで雑草を狙い撃ち！ (株)麻場 製造



野菜の除草管理もザクサがお勧め！

株式会社 中大 / 大西修平さん (写真左)

JA香川県 豊南地区営農センター / 藤村厚介さん (写真右)

JA香川県豊南地区は、香川県の西南端に位置し、観音寺市大野原町と豊浜町からなります。南東は讃岐山脈を境に徳島県、愛媛県と接し、三方を山に囲まれているため災害が少なく、北西は瀬戸内海に面しているため温暖な気候となっています。

主な生産物は、レタス類を中心に青ネギ、ブロッコリー、玉葱、ニンニクなどの葉茎菜類が生産されています。また、「らりるれレタス」のブランド名で知られる香川県産レタスの約6割を占めている他、ロメインレタスは、「らりるれロメイン」として観音寺ブランドに認証されているほど魅力あふれる野菜となっています。



取材
協力

JA香川県 豊南地区営農センター 園芸課

〒769-1611 香川県観音寺市大野原町大野原1931
TEL:0875-54-3124

